

項目	頁	常務委員会における主な意見	対応
■ 都市計画マスタープラン（本編）【資料 1 - 5】			
1 全体	—	全体を通して枠囲みが多く、多用しすぎると見にくく感じる。【長谷川委員】 枠囲みを外す場合は、事例を本文として読まないように区別した方がいい。【澤木委員】 段落番号の丸数字の位置づけが各章で異なっている。例えば、暮らしのイメージの丸数字は31ページに合わせて「イメージ①」にした方が分かりやすいと思う。【長谷川委員】	全体を通して、わかりやすさ・見やすさ・読みやすさの観点で修正しました。
2 表紙	表紙	表紙について、現行計画と比べてシンプルなデザインとなっているが、今後検討されるのか。【石原委員】	市民と共に創るまちの姿（将来ビジョン）を踏まえた表紙のデザインとしました。
3 序章 1 都市計画マスタープランとは	6	「共創」について、次期総合計画でも重要なキーワードとなっており、総合計画の流れを文章中に記載してはどうか。【長谷川委員・澤木会長】	最終段落の3行目で、第6次総合計画を踏まえて「共創のまちづくり」の考え方を記載しました。
4	13	位置づけにおいて、各計画に対して「即する」と「踏まえる」という表記を使い分けているが、意図があれば教えていただきたい。【長谷川委員、澤木会長】	都市計画法により即する（適合する）ことが求められているものには「即する」それ以外は「踏まえる」としています。
5 第1章 1 市民と共に創るまちの姿	30	「ウェルビーイング」はもっと広い意味の言葉であるが、市民が考えるまちの姿④のみキーワードが入っていることに違和感がある。【諸橋委員、澤木会長】	共通するキーワードとして「ウェルビーイング」を整理しました。
6 第1章 2 都市づくり戦略	34-39	「分野別の都市づくりの方針」との関係が示されているが、方針番号とページ番号の表記が似ており混同しやすい。また、「共創のまちづくりの進め方」との関係も示されているが、ページ番号を記載するなど使いやすいような工夫をお願いしたい。【澤木会長】	冒頭に各章と対応するページ番号を記載し、関連する項目が分かりやすいようにデザインを工夫しました。
7	35	戦略2-2-③において、3つ目のみ「推進しています」といった現在形で記載している。戦略であれば、未来形の表現の方がいいのではないか。【長谷川委員・澤木会長】	「推進していきます」に表現を見直しました。
8	38	戦略3の表で、1の「場づくりのプロセス」という表題が全体のプロセスを表しているように感じる。表現を検討してはどうか。【長谷川委員・澤木会長】	「場づくりの準備」に表現を見直しました。
9 第3章 1 地域づくりの方針	56	「第3次総合保健福祉計画における5圏域のエリア」の図表について、ページを見開きで見たときに、図と表の大きさなどのバランスが悪いように感じる。	バランスを整えました。
10 参考資料 2 用語集	88	用語集に記載されている「レジリエント」について、「レジリエンス」の方が一般的に使用されている。【石原委員】	「レジリエンス」に修正し、内容を更新しました。
11 参考資料 3 都市計画図	89	現行計画の巻末にある「都市計画図」などを参照のために掲載してはどうか。【松本委員】	参考資料に「3 都市計画図」を追加しました。
■ 立地適正化計画中間見直し（参考資料 中間検証）【資料 1 - 8】			
12 2 誘導施策の検証	14-36	誘導施策の検証にあける、目標設定の妥当性は。【石原委員・長谷川委員・澤木会長】	取組実績の内容が誘導施策・取組の趣旨と異なるもの、参考指標の目標値が古い指標となっているものは、削除・差し替えました。（取組4,10-15,17,20-23）